

第42回 信濃毎日新聞社旗争奪中信地区学童軟式野球大会 大会規定

◎ 本大会は、公認野球規則ならびに松本市少年軟式野球連盟試合規定と大会規定で行う。

- 試合回数 1日2試合の組合せの場合：5イニング
 1日1試合の組合せの場合：6イニング
 大会最終日は別途定める。
- コールドゲーム 4回10点差コールド（1・2回戦）
 5回以降7点差コールド（全試合）
- 試合時間 1時間20分を超えて新しいイニングには入らない。
 ただし、天候、日没等により試合時間を短縮することもある。
 また1時間40分を超えても試合が終了しない場合は時間で終了する場合もある。
- 両翼 両翼は、60mとする。ただし、試合会場の形状により変更もある。
 松本市四賀球場はフェンスを設置とする。
 松本市野球場はフリーとする。
- ベンチ 原則として若番号チームが1塁側。但し、勝利チームが引き続き試合を行う場合には対戦相手は空いたベンチに入ることとする。
 従って若番号チームが3塁側ベンチへ入る場合もある。
- 先攻後攻 1回戦は、若番号チームが先攻とする。
 2回戦以後は主将によるジャンケンで決定する。
- 投手投球 5年生女子選手と4年生は、14mプレートを使用可とする
 4年生の投球数は、1日60球以内とする。
- シートノック 5分間のシートノックを行う。
 ただし、各チーム最初の試合前とし、2試合目になる場合は行わない。
- 選 手 試合に出場できる選手は、大会冊子に記載されている選手とする。
 選手の追加：背番号変更は一切認められない。
- ベンチ入り ベンチ入りは、選手、監督、コーチ2名、チーム代表者とスコアラーとする。
 指導者は、監督30番、コーチ29番～26番とする。
 特例＝ 選手の健康管理、コロナ対策として母親のベンチ入りを以下の人数を認める
 松本市野球場、四賀野球場 ：母親3名
 松本市野球場、四賀野球場以外：母親2名
- 選手名簿 チーム全員の選手名簿をあらかじめコピーをして持参し、オーダー交歓時に会場責任者に提出すること（ホームページに掲載の書式）
 試合前に交換する市販のメンバー表へは、先発選手9名のみを記入して提出すれば可とする（補欠選手欄への記入は不要）
 松本市野球場、四賀野球場で試合 ：4部
 松本市野球場、四賀野球場以外で試合：2部
- 牽制暴投 投手の牽制による暴投がボールデットになった場合は、
 投手板を踏んでいたか否かに関わらず、一つの進塁とする。
- 臨時捕手 イニング交代の時に選手の少ないチームは、捕手が用具を装着している間に、投手の投球練習の捕手を指導者が勤めることを認めることとする。
 必ず球審の許可を得ること。（あまり好ましいことではありません）
- 給水タイム 試合中の長い守備の場合、審判団、会場責任者の判断で給水タイムが必要であれば、タイムを取ることにする。
- その他 監督会議は行いません。
 問合せは事前をお願いします。また問合せの事例は全チームに報告します。